

明星石井社長(中央左)、トルコ共和国
気象庁 Ismail Gunes長官(中央)



iMS-100

トルコ共和国向けラジオゾンデ10,000台受注

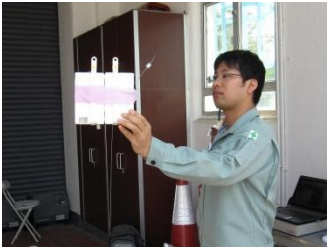
明星電気は、このたび、トルコ共和国森林・水資源省気象庁向けに高層気象観測機器GPS ラジオゾンデ「iMS-100」を10,000台一括受注しました。

今回の受注は、昨年開発を完了した「iMS-100」としては、初の海外での受注であり、IHIの支援を受けて受注にこぎ着けました。今後、トルコ共和国各地10か所に地上受信局を設置し、2015年7月から出荷する予定です。

今回受注した「iMS-100」は、昨年開発した世界最小、最軽量の高性能ラジオゾンデです。ゾンデを小型・軽量とすることで、飛揚に必要な機材の小型化、省資源化が同時に実現でき、各国で採用されている製品に対して最大30%の運用コスト削減が見込まれます。現在、ラジオゾンデによって得られる高精度な高層気象データは、天気予報や気候監視など、様々な社会的ニーズに対して極めて重要な役割を担っています。

今回の受注を足掛かりに、「iMS-100」の海外受注活動を積極的に展開し、地球規模での気象観測に貢献していきます。

(担当: 気象・管制事業部、営業統括部グローバル戦略グループ)



納入試験の準備をする明星社員

香港天文台向け放射能ゾンデ納入

香港天文台は130年の歴史があり、天文以外に気象、地震、潮位等の各種観測と、これらの情報提供、天気予報、各警報などの発表を行っています。

また、定期的な大気中の放射線量測定も行っており、ラジオゾンデを使った上空の放射線量測定を年4回実施しています。

今回、明星電気は、この放射線量定期観測用の放射能ゾンデ、オゾンゾンデ、ラジオゾンデRS-11G、地上受信局を受注し、12月に納入しました。納入試験においても、ゾンデ、受信局システム全体として「GOOD！」と好評でした。

この海外での放射能ゾンデ納入実績を基に他国へPRすると共に、更なる事業拡大を目指します。

(担当: 気象・管制事業部、営業統括部グローバル戦略グループ)



SBCラジオのインタビューを受ける
明星社員(中央)

信州大学地域連携フォーラムにPOTEKA出展

2月22日、長野県長野市で、「平成26年度信州大学地域連携フォーラム」が開催されました。

このフォーラムは、信州大学が地域の防災に対する教育・研究および社会貢献を推進するために、「地域の防災・減災機能の強化を考える」をテーマとして、2部構成で実施されました。第1部では、「地域防災と科学技術」、第2部では「地域防災と危機管理」と題した複数の講演が行われました。

また、協賛企業である株式会社IHIシナウラのブースに明星電気もPOTEKAを出展し、当日は会場から生中継されたSBCラジオ「ともラジ」サンデースペシャル内で、各出展企業とともに当社も紹介されました。

今後も地域の防災・減災機能の強化に役立てるよう製品開発を進めていきます。

(担当: 気象・管制事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。